

スマイル桜ヶ丘

～ 職員のワークライフバランスが入居者の笑顔につながる ～



ミーティングの様子

○理事長の歌謡ショー
年に2、3回、柏木美代子理事長による歌謡ショーを開催している。ショーなどを見に行く機会が少なくなりがちな利

○専門職連携で支える
歯科、眼科、精神科の医師、理学療法士や機能訓練指導員と連携することで、多くの加算を取得している。一人の利用者に多くの職種が関わってケアをしている。

「スマイル」はスウェーデン語で「スマイル(笑顔)」の意味がある。ご入居者様とスタッフの「笑顔」があふれる施設にしたいと願って名付けられた。



施設外観・オレンジ色の外壁がポイント

【施設の紹介】
神奈川県大和市にあるスマイル桜ヶ丘は、平成27年に開設され、オープンして5年目を迎える。小田急線「桜ヶ丘駅」から徒歩5分と駅から近く家族も訪れやすい立地だ。

「介護職になりたい」と

○派遣→正規、事務→介護
派遣で働きに来ていた看護師が「働きやすい職場だから」と正職員に。また、事務職で採用された職員が生き生きと働く介護職員の様子を見て



○職人を呼んで実演・体験
施設にいても、色々な行事を楽しんでいただきたいという思いから、毎月、イベントを企画している。中でも、そば打ち体験やうなぎ実演、握り寿司は大好評だ。



左人はだしの柏木理事長 歌謡ショー

用者に「楽しんでいただきたい」という思いで実施している。



保健師でもある 久次米鈴代施設長

【久次米施設長から】
○全てが繋がっている

「何より職員が健康であることが大切だ」と考える柏木理事長の思いを汲み、健康づくりに取り組んでいます。職員が健康で良いライフワークバランスで働ける環境を作ることが、入居者の笑顔につながる。専門職がうまく連携できるとケアの質の向上につながる。全てが繋がっていると思うので、良い方向にスパイラルアップできるように取り組んでいきたい。

【取材後記】新型コロナウイルス感染症の影響下、取材にご協力いただきありがとうございました。「全てが繋がっている」という言葉が心に残りました。(事務局・山崎)

職員が仕事と子育てを両立できるように、「育メン休暇」という男性育児休暇取得を推奨している。「子育ての協力者がいない」、「上の子どもの面倒を見たい」という職員にとっては特に嬉しい制度だ。



希望し、施設内で転職した例もある。
○子育てを法人で支援